

2021. 11. 22

草津市政記者クラブ加盟社 各位

<配信枚数2枚>

食マネジメント学部の学生団体によるプロジェクト
「第2回 滋賀ぎゅっとおみやげコンテスト」を開催
～応募総数125点から滋賀の新しいお土産アイデアが決定！～
日 時：2021年12月11日（土）
場 所：三井アウトレットパーク滋賀竜王

立命館大学食マネジメント学部生を中心に構成する学生団体「ぎゅっと滋賀」は、募集した滋賀の食材・特産品を用いた菓子や特徴を表す菓子のアイデア125点から、入賞作品10点を決定する「滋賀ぎゅっとおみやげコンテスト」を、12月11日（土）に三井アウトレットパーク滋賀竜王で開催いたします。一次審査を通過した、小学生以下部門5人、一般部門10人（合計15人）が、プレゼンテーションを行います。また、オンラインでも会場の様子をライブ配信でお届けします。

本件のポイント

- 学生団体が滋賀の食材・特産品を用いた菓子や特徴を表す菓子のアイデアを一般公募
- 第2回は「あなたが送りたい滋賀ギフト」をテーマに設定
- 応募者125人から選ばれた15人が、三井アウトレットパーク滋賀竜王でアイデアを発表
- 15点のうち1点は、企業と連携して、お土産として商品化予定

2019年に開催した第1回では、100点を超える応募作品をヒントに、企業等からの協力を得て、滋賀県産ほうじ茶を使用したガトーショコラ「シガトー」を開発、県内の平和堂店舗や立命館生協などで販売しました。2021年12月には再販を予定しています。

学生たちは、本コンテストを通じて、多くの方に滋賀の魅力を見つめ直すきっかけにもらい、沢山の方の滋賀への想いを”ぎゅっと”詰め込んだコンテストとなることを目指しています。

記

日 時：2021年12月11日（土）11:30～16:20

【子どもの部】（小学生以下部門）11:30～12:55（10:40受付）

【大人の部】（一般部門）14:30～16:20（13:40受付）

会 場：三井アウトレットパーク滋賀竜王 センターコート イベントステージ

※オンライン配信は公式サイト(<https://shigaomiyage2019.jp/>)より視聴いただけます

内 容：別紙参照

主 催：立命館大学学生団体「ぎゅっと滋賀」

審査員：株式会社 叶 匠壽庵、株式会社平和堂、株式会社いのうえ
滋賀県食肉生活衛生同業組合（二次審査のみ）

後 援：滋賀県、大津市、草津市、草津市教育委員会、滋賀県中小企業家同友会

協 力：MOP LABO Shiga Ryuo

※ご取材をご希望の場合は、11月30日（火）までに下記にご連絡をお願いいたします。

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:遠藤 TEL.075-813-8300

別紙

■各賞

【小学生以下部門】 クリエイティブ賞 1 点、最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 1 点

【一般部門】 最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 2 点

※コンテスト終了後、一次審査を通過した作品から 1 点を企業と連携して商品化する予定です。

■審査基準

- ・オリジナリティあふれる斬新なアイデアであること
- ・滋賀の特産物が活かされていること、または、滋賀らしさが出ていること

■当日の主なスケジュール

【小学生以下部門】

- 11:30～11:40 開会式
- 11:50～12:10 一次審査通過者によるプレゼンテーション(5 人、各 3 分)
- 12:15～12:35 審査員による選考・休憩
- 12:40～13:00 結果発表 および 閉会式

【一般部門】

- 14:30～14:35 開会式
- 14:45～15:30 一次審査通過者によるプレゼンテーション(10 人、各 5 分)
- 15:35～16:00 審査員による選考・休憩
- 16:05～16:20 結果発表 および 閉会式

■立命館大学学生団体「ぎゅっと滋賀」について

設 立 : 2018 年

所属学生数 : 41 人

代表学生 : 宮本 彩羽(食マネジメント学部 2 回生)

活動拠点 : 立命館大学びわこ・くさつキャンパス

顧問 : 小沢 道紀(食マネジメント学部教授)

「滋賀には土地に息づいた美味しい食材・特産品がたくさんあるにもかかわらず、その魅力はまだまだ知られていない」という課題認識のもと、滋賀県はもとより日本全国から集まったメンバーが、滋賀について学び、滋賀の魅力を発信する活動を展開しています。

※当団体は、2021 年度立命館大学校友会未来人財育成奨励金(団体支援)に採用され、大学から活動支援を受けています。

■代表・宮本 彩羽さん(食マネジメント学部 2 回生)よりコメント

沢山のアイデアをご応募いただき、ありがとうございました。第 1 回に続き、第 2 回も開催することができることに、団体一同とても喜んでます。応募作品の中には、個性豊かな作品や滋賀県への強い想いを感じる作品が多くありました。このコンテストを通じて、滋賀県民の方をはじめ、全国の皆さんに、滋賀の魅力や特産物など滋賀の良いところを、知っていただきたいと考えています。